

# 調査書作成上の留意事項

## I 記入上の全般的注意

- 1 記入に当たっては、黒のペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。また、ワープロ等の使用も可とする。
- 2 調査書には、平成30年11月末日までの事項を記入する。
- 3 数字はすべて算用数字を用いる。
- 4 誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正液等を用いず、記載責任者が訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押して訂正する。
- 5 ※No. の欄は記入しない。
- 6 氏名欄は、ゴム印を用いず楷書で記入する。
- 7 性別については、「男・女」のどちらかを○で囲む。
- 8 卒業等については、「卒業見込・卒業」のどちらかを○で囲む。
- 9 学級種別については、「通常の学級 特別支援学級」のどちらかを○で囲む。特別支援学級の場合は、「知的 肢体 病弱 弱視 難聴 自閉・情緒 言語」のいずれかを○で囲み、「入級年月日」を記入する。
- 10 調査書等作成委員会の欄には、記載責任者の認印を押す。

## II 各欄記入上の注意

- 1 「障害の状況」の欄について
  - (1) 障害名・診断名については、「知的障害」「病弱」「肢体不自由」「視覚障害」「聴覚障害」に該当するものを記入する。複数該当する場合は、該当する項目をすべて記入する。また、医療機関で診断された名称（自閉症、ADHD等）についても記入する。
  - (2) 療育手帳については、「有・無」のどちらかを○で囲む。療育手帳がある場合は、初めて取得した年月日を記入する。

## 2 「身体の状況」の欄について

- (1) 健康上の留意点については、学校生活および寄宿舎生活を送る上で、健康上配慮が必要な事項を記入する。特に留意点がない場合は、斜線を引く。
- (2) てんかんについては、「有・無」のどちらかを○で囲む。発作の回数は、日または月、年を○で囲み、その回数を記入すること。また、発作の状況や服薬の有無についても記入する。
- (3) 服薬については、てんかん以外で服薬しているものについて「有・無」のどちらかを○で囲む。服薬がある場合は、下の欄に具体的な服薬名を記入する。

## 3 「欠席の状況」の欄について

- (1) 欠席日数は、各学年の欠席日数を記入する。欠席がない場合は0と記入する。
- (2) 遅刻、早退については、回数を記入する。遅刻、欠席がない場合は0と記入する。
- (3) 事由の欄には、各学年において欠席日数が7日以上の場合は主な理由等を記入する。
- (4) 欠席日数が7日未満の場合は、事由の欄に斜線を引く。

## 4 「学習および性格・行動等の記録」の欄について

- (1) 学習については、学習の状況や取組の変容について具体的に記入する。
- (2) 性格・行動については、生徒の良い点と課題となる点を合わせて記入する。
- (3) 社会性の欄については、集団参加やコミュニケーションの状況を具体的に記入する。
- (4) その他については、スポーツ活動や文化活動、社会活動、ボランティア活動等について記入する。また、学校生活を送る上で配慮が必要な事項があれば記入する。
- (5) それぞれの欄で記入しきれない場合は、副申書で補足してもよい。